

結果の概要

1 国民医療費の状況

平成26年度の国民医療費は40兆8,071億円、前年度の40兆610億円に比べ7,461億円、1.9%の増加となっている。

人口一人当たりの国民医療費は32万1,100円、前年度の31万4,700円に比べ6,400円、2.0%の増加となっている。

国民医療費の国内総生産(GDP)に対する比率は8.33%（前年度8.30%）、国民所得(NI)に対する比率は11.20%（同11.16%）となっている。（図1、表1、統計表第1表）

図1 国民医療費・対国内総生産・対国民所得比率の年次推移

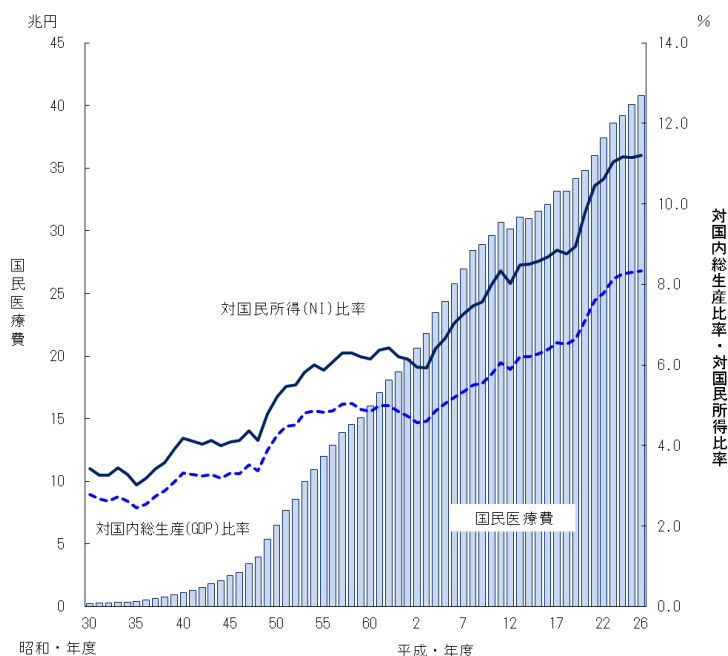


表1 国民医療費・対国内総生産・対国民所得比率の年次推移

年次	国民医療費		人口一人当たり国民医療費		国内総生産(GDP)		国民所得(NI)		国民医療費の比率	
	(億円)	対前年度増減率(%)	(千円)	対前年度増減率(%)	(億円)	対前年度増減率(%)	(億円)	対前年度増減率(%)	国内総生産に対する比率(%)	国民所得に対する比率(%)
昭和29年度	2 152	...	2.4
30	2 388	11.0	2.7	12.5	85 979	...	69 733	...	2.78	3.42
40	11 224	19.5	11.4	17.5	337 653	11.1	268 270	11.5	3.32	4.18
50	64 779	20.4	57.9	19.1	1 523 616	10.0	1 239 907	10.2	4.25	5.22
60	160 159	6.1	132.3	5.4	3 303 968	7.2	2 605 599	7.2	4.85	6.15
61	170 690	6.6	140.3	6.0	3 422 664	3.6	2 679 415	2.8	4.99	6.37
62	180 759	5.9	147.8	5.3	3 622 967	5.9	2 810 998	4.9	4.99	6.43
63	187 554	3.8	152.8	3.4	3 876 856	7.0	3 027 101	7.7	4.84	6.20
平成元年度	197 290	5.2	160.1	4.8	4 158 852	7.3	3 208 020	6.0	4.74	6.15
2	206 074	4.5	166.7	4.1	4 516 830	8.6	3 468 929	8.1	4.56	5.94
3	218 260	5.9	176.0	5.6	4 736 076	4.9	3 689 316	6.4	4.61	5.92
4	234 784	7.6	188.7	7.2	4 832 556	2.0	3 660 072	△ 0.8	4.86	6.41
5	243 631	3.8	195.3	3.5	4 826 076	△ 0.1	3 653 760	△ 0.2	5.05	6.67
6	257 908	5.9	206.3	5.6	4 956 122	2.7	3 667 524	0.4	5.20	7.03
7	269 577	4.5	214.7	4.1	5 045 943	1.8	3 707 727	1.1	5.34	7.27
8	284 542	5.6	226.1	5.3	5 159 439	2.2	3 809 122	2.7	5.51	7.47
9	289 149	1.6	229.2	1.4	5 212 954	1.0	3 822 681	0.4	5.55	7.56
10	295 823	2.3	233.9	2.1	5 109 192	△ 2.0	3 693 715	△ 3.4	5.79	8.01
11	307 019	3.8	242.3	3.6	5 065 992	△ 0.8	3 687 817	△ 0.2	6.06	8.33
12	301 418	△ 1.8	237.5	△ 2.0	5 108 347	0.8	3 751 863	1.7	5.90	8.03
13	310 998	3.2	244.3	2.9	5 017 106	△ 1.8	3 667 838	△ 2.2	6.20	8.48
14	309 507	△ 0.5	242.9	△ 0.6	4 980 088	△ 0.7	3 638 901	△ 0.8	6.21	8.51
15	315 375	1.9	247.1	1.7	5 018 891	0.8	3 681 009	1.2	6.28	8.57
16	321 111	1.8	251.5	1.8	5 027 608	0.2	3 701 166	0.5	6.39	8.68
17	331 289	3.2	259.3	3.1	5 053 494	0.5	3 741 251	1.1	6.56	8.86
18	331 276	△ 0.0	259.3	△ 0.0	5 091 063	0.7	3 781 903	1.1	6.51	8.76
19	341 360	3.0	267.2	3.0	5 130 233	0.8	3 812 392	0.8	6.65	8.95
20	348 084	2.0	272.6	2.0	4 895 201	△ 4.6	3 550 380	△ 6.9	7.11	9.80
21	360 067	3.4	282.4	3.6	4 739 964	△ 3.2	3 443 848	△ 3.0	7.60	10.46
22	374 202	3.9	292.2	3.5	4 805 275	1.4	3 527 028	2.4	7.79	10.61
23	385 850	3.1	301.9	3.3	4 741 705	△ 1.3	3 495 971	△ 0.9	8.14	11.04
24	392 117	1.6	307.5	1.9	4 744 037	0.0	3 511 744	0.5	8.27	11.17
25	400 610	2.2	314.7	2.3	4 824 304	1.7	3 591 151	2.3	8.30	11.16
26	408 071	1.9	321.1	2.0	4 896 234	1.5	3 644 441	1.5	8.33	11.20

注:1) 平成12年4月から介護保険制度が開始されたことに伴い、従来国民医療費の対象となっていた費用のうち介護保険の費用に移行したものがあがるが、これらは平成12年度以降、国民医療費に含まれていない。

2) 国内総生産(GDP)及び国民所得(NI)は、内閣府「国民経済計算」による。

2 制度区分別国民医療費

制度区分別にみると、公費負担医療給付分は3兆390億円（構成割合7.4%）、医療保険等給付分は19兆1,253億円（同46.9%）、後期高齢者医療給付分は13兆3,900億円（同32.8%）、患者等負担分は5兆659億円（同12.4%）となっている。

対前年度増減率をみると、公費負担医療給付分は2.0%の増加、医療保険等給付分は1.7%の増加、後期高齢者医療給付分は2.4%の増加、患者等負担分は1.5%の増加となっている。（表2、統計表第2表、参考1）

表2 制度区分別国民医療費

制度区分	平成26年度		平成25年度		対前年度	
	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
総数	408 071	100.0	400 610	100.0	7 461	1.9
公費負担医療給付分	30 390	7.4	29 792	7.4	598	2.0
医療保険等給付分	191 253	46.9	188 109	47.0	3 144	1.7
医療保険	188 176	46.1	185 125	46.2	3 051	1.6
被用者保険	91 242	22.4	88 815	22.2	2 427	2.7
被保険者	46 492	11.4	44 973	11.2	1 519	3.4
被扶養者	39 846	9.8	39 204	9.8	642	1.6
高齢者 ¹⁾	4 903	1.2	4 638	1.2	265	5.7
国民健康保険	96 934	23.8	96 310	24.0	624	0.6
高齢者以外	65 447	16.0	66 311	16.6	△ 864	△ 1.3
高齢者 ¹⁾	31 487	7.7	29 999	7.5	1 488	5.0
その他 ²⁾	3 077	0.8	2 984	0.7	93	3.1
後期高齢者医療給付分	133 900	32.8	130 821	32.7	3 079	2.4
患者等負担分	50 659	12.4	49 918	12.5	741	1.5
軽減特例措置 ³⁾	1 869	0.5	1 970	0.5	△ 101	△ 5.1

注：1) 被用者保険及び国民健康保険適用の高齢者は70歳以上である。

2) 労働者災害補償保険法、国家公務員災害補償法、地方公務員災害補償法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法、防衛省の職員の給与等に関する法律、公害健康被害の補償等に関する法律及び健康被害救済制度による救済給付等の医療費である。

3) 70～74歳の患者の窓口負担の軽減措置に関する国庫負担分である。

3 財源別国民医療費

財源別にみると、公費は15兆8,525億円（構成割合38.8%）、そのうち国庫は10兆5,369億円（同25.8%）、地方は5兆3,157億円（同13.0%）となっている。保険料は19兆8,740億円（同48.7%）、そのうち事業主は8兆3,292億円（同20.4%）、被保険者は11兆5,448億円（同28.3%）となっている。また、その他は5兆806億円（同12.5%）、そのうち患者負担は4兆7,792億円（同11.7%）となっている。（表3、統計表第3表、参考1）

表3 財源別国民医療費

財源	平成26年度		平成25年度		対前年度	
	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
総数	408 071	100.0	400 610	100.0	7 461	1.9
公費	158 525	38.8	155 319	38.8	3 206	2.1
国庫 ¹⁾	105 369	25.8	103 636	25.9	1 733	1.7
地方	53 157	13.0	51 683	12.9	1 474	2.9
保険料	198 740	48.7	195 218	48.7	3 522	1.8
事業主	83 292	20.4	81 232	20.3	2 060	2.5
被保険者	115 448	28.3	113 986	28.5	1 462	1.3
その他 ²⁾	50 806	12.5	50 072	12.5	734	1.5
患者負担（再掲）	47 792	11.7	47 076	11.8	716	1.5

注：1) 軽減特例措置は、国庫に含む。

2) 患者負担及び原因者負担（公害健康被害の補償等に関する法律及び健康被害救済制度による救済給付等）である。

4 診療種類別国民医療費

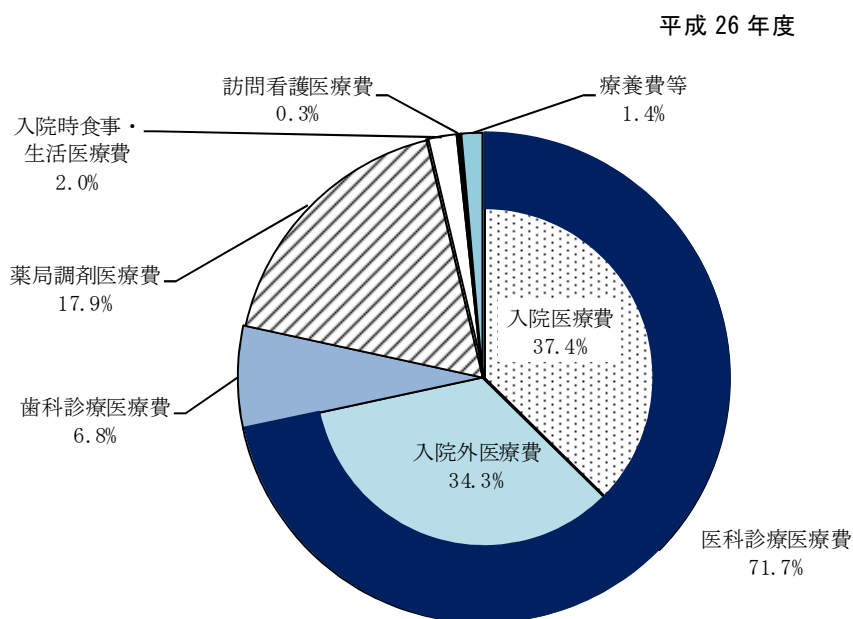
診療種類別にみると、医科診療医療費は29兆2,506億円（構成割合71.7%）、そのうち入院医療費は15兆2,641億円（同37.4%）、入院外医療費は13兆9,865億円（同34.3%）となっている。また、歯科診療医療費は2兆7,900億円（同6.8%）、薬局調剤医療費は7兆2,846億円（同17.9%）、入院時食事・生活医療費は8,021億円（同2.0%）、訪問看護医療費は1,256億円（同0.3%）、療養費等は5,543億円（同1.4%）となっている。

対前年度増減率をみると、医科診療医療費は1.8%の増加、歯科診療医療費は1.9%の増加、薬局調剤医療費は2.4%の増加となっている。（表4、図2、統計表第4表、参考1）

表4 診療種類別国民医療費

診療種類	平成26年度		平成25年度		対前年度	
	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
総数	408,071	100.0	400,610	100.0	7,461	1.9
医科診療医療費	292,506	71.7	287,447	71.8	5,059	1.8
入院医療費	152,641	37.4	149,667	37.4	2,974	2.0
病院	148,483	36.4	145,523	36.3	2,960	2.0
一般診療所	4,158	1.0	4,144	1.0	14	0.3
入院外医療費	139,865	34.3	137,780	34.4	2,085	1.5
病院	56,956	14.0	55,894	14.0	1,062	1.9
一般診療所	82,909	20.3	81,886	20.4	1,023	1.2
歯科診療医療費	27,900	6.8	27,368	6.8	532	1.9
薬局調剤医療費	72,846	17.9	71,118	17.8	1,728	2.4
入院時食事・生活医療費	8,021	2.0	8,082	2.0	△ 61	△ 0.8
訪問看護医療費	1,256	0.3	1,086	0.3	170	15.7
療養費等	5,543	1.4	5,509	1.4	34	0.6

図2 診療種類別国民医療費構成割合



5 年齢階級別国民医療費

年齢階級別にみると、0～14歳は2兆4,829億円（構成割合6.1%）、15～44歳は5兆2,244億円（同12.8%）、45～64歳は9兆1,932億円（同22.5%）、65歳以上は23兆9,066億円（同58.6%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満は17万9,600円、65歳以上は72万4,400円となっている。そのうち内科診療医療費では、65歳未満が12万3,000円、65歳以上が53万5,700円となっている。歯科診療医療費では、65歳未満が1万8,300円、65歳以上が3万2,500円となっている。薬局調剤医療費では、65歳未満が3万2,600円、65歳以上が12万7,700円となっている。（表5、統計表第5表、参考1）

表5 年齢階級別国民医療費

年齢階級	平成26年度			平成25年度			対前年度	
	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)	人口一人当たり国民医療費	
							増減額 (千円)	増減率 (%)
	総 数							
総	408 071	100.0	321.1	400 610	100.0	314.7	6.4	2.0
65歳未満	169 005	41.4	179.6	169 498	42.3	177.7	1.9	1.1
0～14歳	24 829	6.1	153.0	24 510	6.1	149.5	3.5	2.3
15～44歳	52 244	12.8	116.6	52 004	13.0	114.4	2.2	1.9
45～64歳	91 932	22.5	278.3	92 983	23.2	277.2	1.1	0.4
65歳以上	239 066	58.6	724.4	231 112	57.7	724.5	△ 0.1	△ 0.0
70歳以上(再掲)	194 777	47.7	816.8	189 253	47.2	815.8	1.0	0.1
75歳以上(再掲)	144 413	35.4	907.3	140 949	35.2	903.3	4.0	0.4
	医 科 診 療 医 療 費 (再掲)							
総	292 506	100.0	230.2	287 447	100.0	225.8	4.4	1.9
65歳未満	115 709	39.6	123.0	116 439	40.5	122.1	0.9	0.7
0～14歳	17 399	5.9	107.2	17 199	6.0	104.9	2.3	2.2
15～44歳	34 224	11.7	76.4	34 248	11.9	75.3	1.1	1.5
45～64歳	64 086	21.9	194.0	64 992	22.6	193.8	0.2	0.1
65歳以上	176 797	60.4	535.7	171 008	59.5	536.1	△ 0.4	△ 0.1
70歳以上(再掲)	144 815	49.5	607.3	140 815	49.0	607.0	0.3	0.0
75歳以上(再掲)	108 432	37.1	681.2	105 981	36.9	679.2	2.0	0.3
	歯 科 診 療 医 療 費 (再掲)							
総	27 900	100.0	22.0	27 368	100.0	21.5	0.5	2.3
65歳未満	17 185	61.6	18.3	17 051	62.3	17.9	0.4	2.2
0～14歳	2 223	8.0	13.7	2 178	8.0	13.3	0.4	3.0
15～44歳	7 034	25.2	15.7	6 932	25.3	15.2	0.5	3.3
45～64歳	7 929	28.4	24.0	7 940	29.0	23.7	0.3	1.3
65歳以上	10 714	38.4	32.5	10 317	37.7	32.3	0.2	0.6
70歳以上(再掲)	7 875	28.2	33.0	7 621	27.8	32.9	0.1	0.3
75歳以上(再掲)	5 000	17.9	31.4	4 768	17.4	30.6	0.8	2.6
	薬 局 調 剤 医 療 費 (再掲)							
総	72 846	100.0	57.3	71 118	100.0	55.9	1.4	2.5
65歳未満	30 704	42.1	32.6	30 530	42.9	32.0	0.6	1.9
0～14歳	4 645	6.4	28.6	4 575	6.4	27.9	0.7	2.5
15～44歳	9 377	12.9	20.9	9 210	13.0	20.3	0.6	3.0
45～64歳	16 682	22.9	50.5	16 745	23.5	49.9	0.6	1.2
65歳以上	42 141	57.8	127.7	40 588	57.1	127.2	0.5	0.4
70歳以上(再掲)	34 191	46.9	143.4	33 073	46.5	142.6	0.8	0.6
75歳以上(再掲)	24 775	34.0	155.6	24 104	33.9	154.5	1.1	0.7

また、年齢階級別国民医療費を性別にみると、0～14歳の男は1兆3,676億円（構成割合7.0%）、女は1兆1,153億円（同5.3%）、15～44歳の男は2兆3,582億円（同12.0%）、女は2兆8,662億円（同13.5%）、45～64歳の男は4兆9,030億円（同25.0%）、女は4兆2,902億円（同20.3%）、65歳以上の男は11兆157億円（同56.1%）、女は12兆8,909億円（同60.9%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満の男は18万1,400円、女は17万7,900円、65歳以上の男は77万4,300円、女は68万6,700円となっている。（表6、統計表第5表）

表6 年齢階級、性別国民医療費

平成26年度

年 齢 階 級	男			女		
	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)
	総 数					
総 数	196 444	100.0	317.9	211 627	100.0	324.2
65 歳 未 満	86 288	43.9	181.4	82 717	39.1	177.9
0 ～ 14 歳	13 676	7.0	164.5	11 153	5.3	140.9
15 ～ 44 歳	23 582	12.0	103.3	28 662	13.5	130.3
45 ～ 64 歳	49 030	25.0	298.2	42 902	20.3	258.5
65 歳 以 上	110 157	56.1	774.3	128 909	60.9	686.7
70歳以上(再掲)	86 125	43.8	877.6	108 652	51.3	774.3
75歳以上(再掲)	60 082	30.6	981.1	84 331	39.8	861.1
	医科診療医療費(再掲)					
総 数	142 843	100.0	231.1	149 662	100.0	229.3
65 歳 未 満	59 903	41.9	125.9	55 806	37.3	120.0
0 ～ 14 歳	9 621	6.7	115.7	7 778	5.2	98.2
15 ～ 44 歳	15 333	10.7	67.2	18 891	12.6	85.9
45 ～ 64 歳	34 949	24.5	212.6	29 137	19.5	175.6
65 歳 以 上	82 941	58.1	583.0	93 856	62.7	500.0
70歳以上(再掲)	65 121	45.6	663.5	79 695	53.2	568.0
75歳以上(再掲)	45 773	32.0	747.4	62 659	41.9	639.8
	歯科診療医療費(再掲)					
総 数	12 811	100.0	20.7	15 088	100.0	23.1
65 歳 未 満	8 046	62.8	16.9	9 139	60.6	19.7
0 ～ 14 歳	1 143	8.9	13.7	1 080	7.2	13.6
15 ～ 44 歳	3 186	24.9	14.0	3 848	25.5	17.5
45 ～ 64 歳	3 717	29.0	22.6	4 212	27.9	25.4
65 歳 以 上	4 765	37.2	33.5	5 949	39.4	31.7
70歳以上(再掲)	3 423	26.7	34.9	4 452	29.5	31.7
75歳以上(再掲)	2 090	16.3	34.1	2 911	19.3	29.7
	薬局調剤医療費(再掲)					
総 数	33 815	100.0	54.7	39 031	100.0	59.8
65 歳 未 満	15 484	45.8	32.5	15 220	39.0	32.7
0 ～ 14 歳	2 605	7.7	31.3	2 040	5.2	25.8
15 ～ 44 歳	4 307	12.7	18.9	5 070	13.0	23.0
45 ～ 64 歳	8 573	25.4	52.1	8 110	20.8	48.9
65 歳 以 上	18 331	54.2	128.8	23 811	61.0	126.8
70歳以上(再掲)	14 293	42.3	145.6	19 898	51.0	141.8
75歳以上(再掲)	9 801	29.0	160.0	14 974	38.4	152.9

6 傷病分類別医科診療医療費

医科診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」5兆8,892億円（構成割合20.1%）が最も多く、次いで「新生物」3兆9,637億円（同13.6%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」2兆2,847億円（同7.8%）、「呼吸器系の疾患」2兆1,772億円（同7.4%）、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」2兆1,667億円（同7.4%）となっている。

年齢階級別にみると、65歳未満では「新生物」1兆4,992億円（同13.0%）が最も多く、65歳以上では「循環器系の疾患」4兆5,829億円（同25.9%）が最も多くなっている。

また、性別にみると、男では「循環器系の疾患」（同21.4%）、「新生物」（同15.0%）、「腎尿路生殖器系の疾患」（同8.3%）が多く、女では「循環器系の疾患」（同18.9%）、「新生物」（同12.2%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（同10.0%）が多くなっている。（表7、図3、統計表第6表）

表7 年齢階級、傷病分類別医科診療医療費（上位5位）

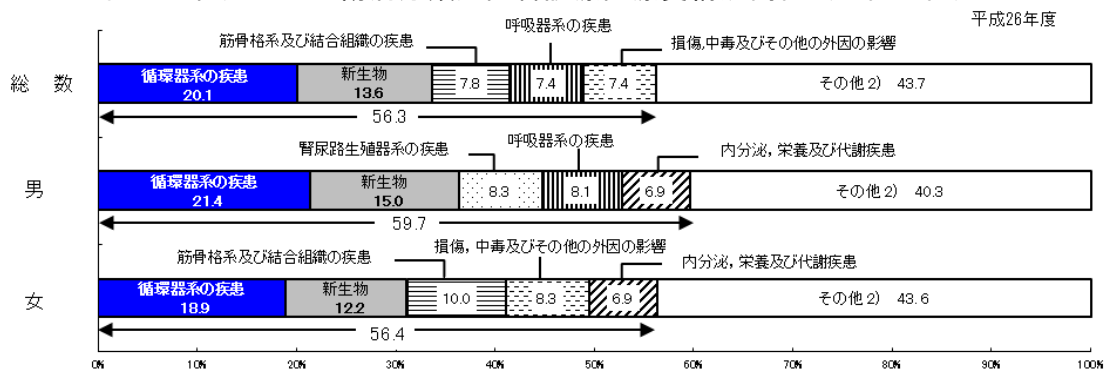
傷病分類 ¹⁾	平成26年度			平成25年度			対前年度	
	順位 ³⁾	医療費 (億円)	構成割合 (%)	順位 ³⁾	医療費 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	増減率 (%)
総 数								
総 数		292 506	100.0		287 447	100.0	5 059	1.8
循環器系の疾患	1	58 892	20.1	1	58 817	20.5	75	0.1
新生物	2	39 637	13.6	2	38 850	13.5	787	2.0
筋骨格系及び結合組織の疾患	3	22 847	7.8	3	22 422	7.8	425	1.9
呼吸器系の疾患	4	21 772	7.4	4	21 211	7.4	561	2.6
損傷、中毒及びその他の外因の影響	5	21 667	7.4	5	20 466	7.1	1 201	5.9
その他 ²⁾		127 690	43.7		125 682	43.7	2 008	1.6
65歳未満								
総 数		115 709	100.0		116 439	100.0	△ 730	△ 0.6
新生物	1	14 992	13.0	1	15 233	13.1	△ 241	△ 1.6
循環器系の疾患	2	13 063	11.3	2	13 579	11.7	△ 516	△ 3.8
呼吸器系の疾患	3	11 819	10.2	3	11 623	10.0	196	1.7
精神及び行動の障害	4	10 696	9.2	4	10 733	9.2	△ 37	△ 0.3
腎尿路生殖器系の疾患	5	8 378	7.2	5	8 419	7.2	△ 41	△ 0.5
その他 ²⁾		56 760	49.1		56 852	48.8	△ 92	△ 0.2
65歳以上								
総 数		176 797	100.0		171 008	100.0	5 789	3.4
循環器系の疾患	1	45 829	25.9	1	45 238	26.5	591	1.3
新生物	2	24 645	13.9	2	23 618	13.8	1 027	4.3
筋骨格系及び結合組織の疾患	3	15 253	8.6	3	14 762	8.6	491	3.3
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	13 490	7.6	4	12 464	7.3	1 026	8.2
腎尿路生殖器系の疾患	5	12 707	7.2	6	12 020	7.0	687	5.7
その他 ²⁾		64 872	36.7		62 905	36.8	1 967	3.1

注：1) 傷病分類は、ICD-10（2003年版）に準拠した分類による。

2) 平成26年度の上位5傷病以外の傷病である。

3) 「順位」は、各年度の順位である。

図3 性別にみた傷病分類別医科診療医療費構成割合（上位5位）



注：1) 傷病分類は、ICD-10（2003年版）に準拠した分類による。

2) 上位5傷病以外の傷病である。

7 都道府県別国民医療費

都道府県（患者住所地）別にみると、東京都が3兆9,679億円と最も高く、次いで大阪府が3兆744億円、神奈川県が2兆5,989億円となっている。また、鳥取県が1,945億円と最も低く、次いで島根県が2,548億円、福井県が2,568億円となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、高知県が42万1,700円と最も高く、次いで長崎県が39万6,600円、鹿児島県が39万600円となっている。また、埼玉県が27万8,100円と最も低く、次いで千葉県が27万9,700円、神奈川県が28万5,700円となっている。（図4、統計表第7表）

図4 都道府県別にみた国民医療費・人口一人当たり国民医療費

